

Taizé

Pilgrimage of trust on earth



黙想と祈りの集い

—テゼ共同体の歌を用いて—

日時:毎月第1水曜日 19:00~20:00

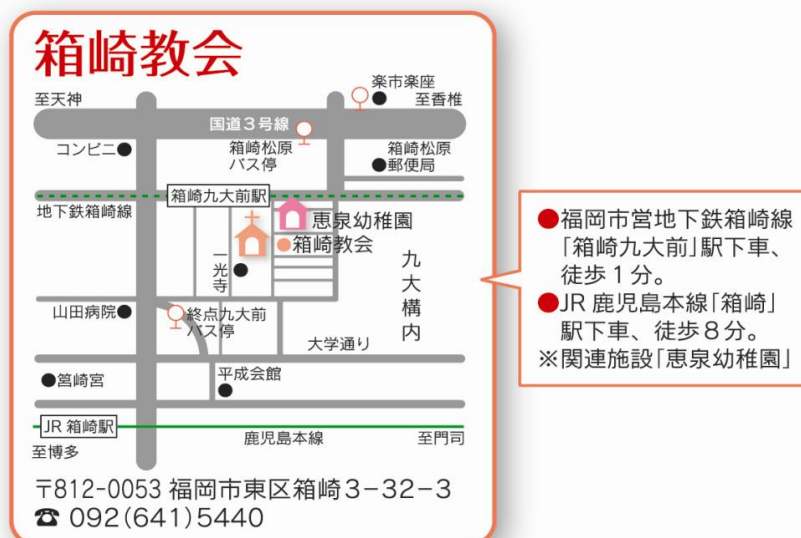
2019年4月3日、5月8日※第二(水)、6月5日、7月3日 ※8月夏休み
9月4日、10月2日、11月6日、12月4日

2020年1月8日※第二(水)、2月5日、3月4日

場所:日本福音ルーテル箱崎教会礼拝堂

<http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

お問い合わせは、電話かメールで牧師のワダまで wada☆jelc.or.jp (☆は@に替えて)



黙想と祈りの集い-テゼ共同体の歌を用いて-のご案内

牧師 和田 憲明

日本福音ルーテル箱崎教会では、毎月の第一水曜日の午後7時より礼拝堂で「黙想と祈りの集い」(テゼ共同体の歌を用いて)を行っています。約1時間、ロウソクを灯し、ギターの音色で短い賛美をくり返し、聖書のみ言葉を聴き、沈黙を守るひと時です。

「テゼ」とは

この会は通称「テゼ」と呼ばれることがあります。元をたどれば、1940年にブラザー・ロジェが、フランスの小村テゼで始めた男子修道会を指します。ブラザーは第二次世界大戦中、苦悩する人々を助けるために日々祈りの時を過ごしていました。彼が居を構えた小村テゼは、当時フランスを二分する境界線に近く、戦火を逃れてやって来る難民を迎え入れるにふさわしい場所でした。彼は荒廃する世界へ向け、平和への想いを共に紡ぐことは出来ないかと考え、黙想の時、沈黙の場として教会を開放したのです。やがてこれに賛同する人々が集い、共に座り始めました――

今日テゼ共同体は、25ほどの国々から集まったプロテスタント教会の諸派やカトリック教会を出身とする約100人のブラザーたちから成り立っています。テゼ共同体は、その存在そのものによって、いくつもの教派に分かれてしまったキリスト者や、分裂された人々の和解の印となっています。今日、テゼ共同体で歌われる短い賛美や祈りのかたちは世界中で歌い継がれています。

(参照:『すべての人よ 主をたたえよ (テゼ共同体の歌)』編著者:テゼ共同体、発行所:サンパウロ)

日本においては、全国各地の教会やキリスト教主義学校を拠点に教派を越えて行なわれています。私たちの教会も毎月第一水曜日(スケジュールの都合上5月第二、8月夏休み、1月第二)に開いており、この集いが広く知られれば幸いです(<http://www.taize.fr/ja>)。

教会に来るには何となく気が引けるといふ方、ちょっと家事を止めて、会社帰りに、何も考えずにぼーっとしたい…などなど。「こんばんは」「さようなら」の挨拶もいりません。礼拝堂の椅子にゆったりと腰かけ、いつでも自由にお帰りください。手ぶらで、気軽に、この集いに来られませんか。静かな時間と場所を用意してお待ちしております。



「疲れた者、重荷を負う者は、

だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」

(マタイによる福音書 11章 28節)

『聖書』の、み言葉どおりに。